

I 学校の教育目標

やさしく かしこく たくましく ～学びを支える基礎・基本を身につけ、自ら考え、仲間とともに解決する児童の育成～
--

II 育成を目指す資質・能力

考えをもち表現する力と協力して課題を解決する力

III 児童・生徒の課題

	学力状況について	学習状況について
児童・生徒の課題	昨年度1月の市学力調査では、国語では2つの学年で全国平均正答率を下回ったが、算数ではすべての学年で全国平均正答率を上回った。 昨年度の、算数の単元末テスト「知識・理解」の全学年の平均は87.3点。「思考・判断・表現」の全学年の平均は81.8点であった。	意欲的に学習に取り組む姿勢が見られる。ペアやグループなど少人数の場では積極的な交流ができるが、全体の場では進んで発表しない場面も多くみられる。タブレット端末を活用した調べ学習など、個別の学習を進んで取り組める。家庭学習については、ほとんどの児童が習慣化できている。

IV 学校評価4点セットの学力に関する達成指標

児童アンケート「学習のやくそくが守れた」で肯定的に回答する児童を75%以上にする。 児童アンケート「友だちの話を最後まで聞くことができた」で肯定的に回答する児童を70%以上にする。

V 授業改善の取組(「授業改善の5点セット」目標達成に向けた組織的な授業改善)

①授業改善テーマ	自分の考えを説明する力を伸ばし、問題を解決する力の向上 ～対話的な学習の充実～
②授業改善の重点	算数科の学習において、操作活動や図・式・言葉を用いて自分の考えをもち、対話的な学習により根拠を明確にして、自分の考えを説明したり友だちの考えを取り入れたりすれば、課題を解決しようとする力が高まるであろう

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
1学期	算数における「思考力・判断力・表現力」の向上	授業者は算数で根拠をあげて筋道立てて説明する対話的学習を単元に1回以上行う。	算数の単元テスト「思考力・判断力・表現力」の平均を全学年75点以上にする	

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
2学期				

	③取組内容	④取組指標	⑤検証指標	検証(成果・課題)
3学期				

VI 学習定着状況の把握とフォローの取組 および 個に応じた学習の取組(補充学習・習熟度別指導等) ※評価はプルダウンで選択

	重点的取組	取組指標	評価
1学期	ドリルタイムの取組	○担任はドリルタイムの指導にあたり、基礎基本の定着に向けた取り組みを行う。 ○授業者は毎時間授業のあいさつを徹底させる。	
2学期			
3学期			

◎=達成(10割以上)、○=概ね達成(8割以上)、△=やや未達成(6割以上)、×=未達成(6割未満)

VII 学校・家庭・地域の協働の取組 ※評価はプルダウンで選択

	重点的取組	取組指標	評価
家庭	読書活動の推進	保護者は学期1回の読書週間で親子読書に取り組み、感想を伝え合う。	1学期 2学期 3学期
地域	朝読書への読み聞かせボランティアの派遣	学校運営協議会委員は地域ボランティアに協力を依頼し、読み聞かせを学期に6回以上行う。	

◎=達成(10割以上)、○=概ね達成(8割以上)、△=やや未達成(6割以上)、×=未達成(6割未満)

VIII 令和6年度日田市アクションプランの達成指標・取組指標

1 学校評価4点セットの達成状況

令和6年度学校評価の4点セット 達成指標(学力)の評価	1学期	2学期	3学期	※学期末の評価を1~4で入力 (達成指標が複数ある場合は、平均を四捨五入した数値) ※プルダウンで数値を選択

2 取組指標

① 「新大分スタンダード」と自校の【③取組内容】に基づいて、単元計画と本時案(略案)を作成して、授業を担当する全教員が11月までに公開授業(互見授業含む)を実施する。	授業担当者数 人	授業を公開した教員の割合	
		7月末時点 %	11月末時点 %

※割合(%)は四捨五入して整数表示

② 管理職または教務主任等は、授業観察シートをもとに、経験の浅い教員(採用10年以内)1人に対し学期に3回以上授業観察を行う。	1学期	2学期	3学期

※プルダウンで○、×を選択

③ 計画的に互見授業を実施し、全教員が学期に1回以上自校の教員の授業を参観する(校内研を除く)。	1学期	2学期	3学期

※プルダウンで○、×を選択